

松原市の
決算を
「家計」に
例えると?

松原さんちの 家計簿



松原ええとこになったなあ、と
思ってもらえるよう、お金の使い
道をきっちり考えてるねんてっ!

市のお財布事情をわかりやすく説明するために、平成30年度一般会計決算を10万分の1にして家計簿を作ってみました。
(なお、端数処理上、調整している項目があります) ※()内は対前月増減

収入		支出	
給料(市税)	138,120円 (280円)	食費(人件費)	73,120円 (△630円)
パート収入(使用料および手数料など)	9,930円 (20円)	医療費や学費(扶助費)	150,210円 (△980円)
親からの仕送り (国・府支出金、地方交付税など)	232,410円 (△7,040円)	ローンの返済(公債費)	48,320円 (810円)
資産運用収入など(財産収入)	2,220円 (△2,180円)	光熱水費など雑費(物件費)	45,960円 (△30円)
預金の取崩し(繰入金)	7,750円 (△2,520円)	子どもへの仕送り(繰出金)	70,880円 (930円)
先月残ったお金(繰越金)	1,300円 (180円)	家の改修、車の購入(投資的経費)	16,300円 (△10,560円)
ローンの借入れ(市債)	35,740円 (△4,920円)	その他(補助費等、積立金など)	25,020円 (△10,030円)
その他(寄附金、諸収入など)	3,490円 (△4,460円)		
合計	430,960円 (△20,640円)	合計	429,810円 (△20,490円)

翌月への繰越分 430,960円 - 429,810円 = 1,150円

- 人件費** 市役所で働く職員の給料や議員の報酬など
- 物件費** 光熱水費や文具などの購入費、事務機器のリース代など
- 扶助費** 高齢者や障害者、子育て世帯などの生活をサポートするためのお金
- 繰出金** 特別会計に対して一般会計が負担するお金
- 公債費** 市が借り入れたお金の返済金
- 投資的経費** 公共施設の整備費や、自動車など高額な備品の購入にかかるお金

平成30年度の決算状況

市では、市民の皆さんに財政状況を知っていただくため、毎年6月と12月に財政事情を公表しています。

今回は、平成30年度の決算の状況についてお知らせします。

決算とは、1年間に皆さんが納められた市税や国・府からの補助金などがどれくらい入ってきて、どのように使ったかという結果報告です。

▶問合せ 財政課 (☎334-1550)

黒字決算となりました

平成30年度の一般会計の決算額は、歳入が430億9,551万1千円、歳出が429億8,133万4千円となり、平成29年度と比較すると、歳入で△20億6,425万4千円(△4.6%)、歳出で△20億4,835万3千円(△4.5%)とそれぞれ減少しています。

歳入歳出差引である形式収支は1億1,417万7千円の黒字となり、形式収支から翌年度に繰越すべき財源5,484万9千円を差し引いた実質収支でも5,932万8千円の黒字となっています。

社会保障関連経費の増加や、自然災害による災害復旧経費の突発的な発生がありましたが、市税の増収やごみ処理経費の節減をはじめとするこれまでの行財政改革の結果、実質収支において黒字を堅持することができました。

松原市の 財政

市の財政状況
について
知ってほしいねん!



松原市マスコット
キャラクター
マツキ

歳入

平成30年度決算額

430億9,551万1千円

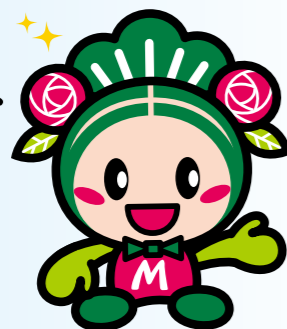
《市民1人当たりの市税負担額》11万5,233円

《平成29年度決算額》451億5,976万5千円

歳入の内訳を構成比順に見ますと、市税が約138.1億円(32.1%)と歳入総額の約3割を占めるほか、国・府支出金が約125.2億円(29.0%)、地方交付税が約81.4億円(18.9%)となっています。

市税や使用料、手数料など松原市が自主的に得ることができる収入である自主財源は約162.8億円と歳入全体の約4割弱となっています。松原市では、自主財源のさらなる確保に向けて、企業誘致など市税の増収につながる施策を推進しています。

市の収入を
増やす努力が
大事やねんで!



市民の皆さんが納める市
民税や固定資産税など

特定の事業のために国・
府が交付するお金

どの地域でも一定の行
政サービスが受けられる
よう国が交付するお金

大きな事業を行うための
銀行などからの借入金

平成
30
年度

一般会計

※()内は構成比、
【 】内は前年度増減率

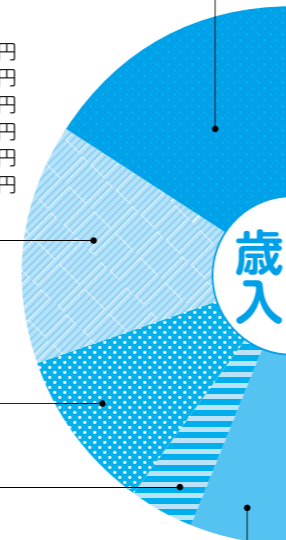
市税
138億1,232万1千円
(32.1%)【0.2%】
〔内訳〕 個人市民税 54.4億円
固定資産税 53.8億円
都市計画税 11.8億円
たばこ税 8.5億円
法人市民税 7.9億円
その他 1.7億円

国・府支出金
125億1,617万6千円
(29.0%)【△5.2%】

地方交付税
81億3,964万2千円
(18.9%)【0.8%】

市債
35億7,370万円
(8.3%)【△12.1%】

その他
50億5,367万2千円
(11.7%)【△16.2%】



民生費
226億7,302万3千円
(52.8%)【△1.0%】

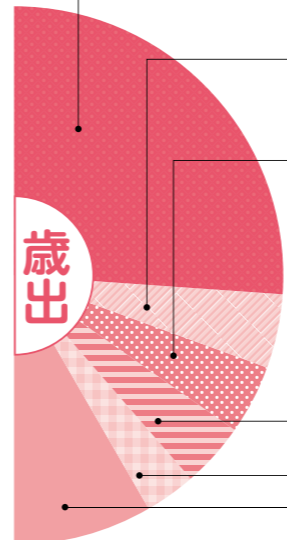
教育費
37億3,699万1千円
(8.6%)【9.3%】

土木費
36億5,615万1千円
(8.5%)【△28.6%】

総務費
33億5,338万7千円
(7.8%)【△22.3%】

衛生費
26億4,600万円
(6.2%)【△1.1%】

その他
69億4,908万2千円
(16.2%)【4.9%】



歳出

平成30年度決算額

429億8,133万4千円

《市民1人当たりに使われた額》35万8,584円

《平成29年度決算額》450億2,968万7千円

歳出の内訳を構成比順に見ますと、福祉関連に使われる民生費が約226.7億円(52.8%)となっており、およそ5割を占めています。

次に学校教育などに使われる教育費で約37億円(8.6%)、道路や公園の整備に使われる土木費が約36.6億円(8.5%)となっています。

なお、平成29年度に大規模な投資事業である天美地区土地区画整理事業が終了したことに伴い、土木費は対前年度△28.6%の減少、総務費では公有財産の売却などに伴う基金への積立を行ったことから、対前年度△22.3%の減少となっています。

市民1人当たりに使われた額の内訳

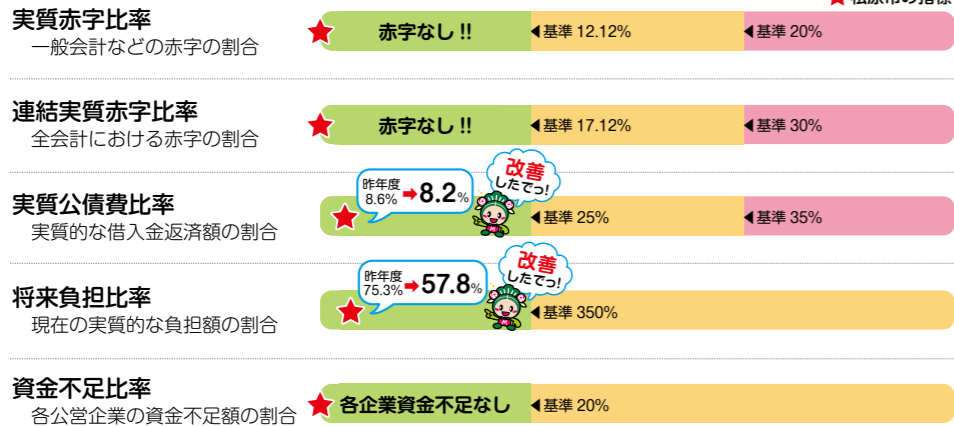
民生費 高齢者や障害者・ 子どもなどの 福祉に	教育費 学校教育や 生涯学習などに	土木費 公園・道路などに	総務費 住民票申請・ 広報広聴などに	衛生費 地域保健・ ごみ処理などに
約18.9万円	約3.1万円	約3.1万円	約2.8万円	約2.2万円

※各項目についての計数は表示単位未満を四捨五入したため、合計と一致しない場合があります。

平成30年度決算に基づき算定した

財政健全化判断比率

松原市の財政状況



健全度は?

平成30年度の決算を基に自治体の財政の健全度を示す全国共通の指標、「財政健全化判断比率」を算出しました。本市は、いずれの指標も昨年度の数値から改善するなど、健全財政を堅持しています。

- 健全団体
- 早期健全化団体
※資金不足比率のみ「経営健全化団体」
- 財政再生団体

平成30年度会計別歳入歳出決算

(単位はすべて千円)

会計区分	歳入	歳出	差引	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支
一般会計	430億9,551万1	429億8,133万4	1億1,417万7	5,484万9	5,932万8
特別会計					
国民健康保険	152億1,556万2	174億1,542万4	△21億9,986万2	0	△21億9,986万2
下水道事業	60億1,092万7	62億6,058万2	△2億4,965万5	0	△2億4,965万5
介護保険	110億 979万6	109億1,443万7	9,535万9	0	9,535万9
後期高齢者医療	17億1,226万6	16億7,791万1	3,435万5	0	3,435万5
財産区	16億1,512万7	7,790万5	15億3,722万2	0	15億3,722万2
合計	786億5,918万9	793億2,759万3	△6億6,840万4	5,484万9	△7億2,325万3

事業区分	収入	平成30年度決算額		差引	令和元年度現計予算額	
		収入	支出		収入	支出
水道事業	収益的収支(税抜き)	24億1,438万8	19億9,745万	4億1,693万8	収入	26億3,840万
	資本的収支	4,186万	5億4,531万4	△5億 345万4	支出	24億 770万
土地開発公社	収益的収支	1億1,453万4	1億1,304万9	148万5	収入	5,910万
	資本的収支	13億8,138万1	14億8,493万3	△1億 355万2	支出	15億6,890万
					収入	3億9,278万
					支出	3億8,637万5
				収入	22億4,481万5	
				支出	26億2,017万9	



5 市民と行政の協働によるまちづくり

- 第5次総合計画策定事業
- 消費者対策事業
(自動通話録音装置の貸出数台の増台)
- フルカラーによる広報まつばら特集号の発行
- 国際交流事業
(オーストラリア ムーニーバレー市との青少年海外友好交流)



- 市民まつり事業
- 松原市民バラフェスティバル



4 利便なまち、元気で活力あふれるまちづくり

- 新堂地区土地区画整理事業
- 地産地消普及促進事業
(まつばらマルシェ)
- 企業立地促進事業
- 観光協会の設立

松原市観光協会

- 観光事業
(観光PR空撮映像作成・日本遺産「竹内街道」)



- 商店街・小売市場等魅力向上事業
(松原市商店街等活性化プランの策定)
- ふるさと応援感謝事業

3 未来を拓く自立心を育む人づくり

- セーフスクール推進事業
(全中学校区でのインターナショナルセーフスクール国際認証取得への着手)



- 学校クラブ活動活性化推進事業
- げんき塾の拡充
(天美公民館、三宅公民館の開設)
- 学校ICT機器等整備事業
- 国際化教育推進事業
(中学生の台湾台北市での交流体験)



- 大規模改造事業
(松原東小学校大規模改造)

2 市民誰もが健やかに暮らせる和らぎのまちづくり

- まつばらテラス(輝)運営管理事業
- 健康診査事業
(がん検診レディースストックの受診枠拡大)
- 母子健康診査事業
(妊婦健診の公費助成の大幅拡充、スポットビジョンスクリーナーによる視力検査の導入)



- 軽度難聴児の補聴器購入費用の助成
- 介護予防・生活支援サービス事業
- 在宅医療・介護連携推進事業
- 認知症総合支援事業
- 小児休日急病診療事業

1 安心して住み続けることができるまちづくり

- セーフコミュニティ推進事業
(再認証を取得)
- 災害対策事業
(防災士資格取得費用の助成)
- 防犯灯・防犯カメラ補助事業
- 救助工作車および救助資機材の更新



- 空き家対策事業
- 耐震診断補助及び耐震改修補助事業
- 道路新設改良
新町中央線道路改良事業
- 市営小川川団地整備事業
- 雨水対策事業
- 配水管耐震化推進事業

第4次総合計画に掲げた5つの基本目標の達成に向けた総仕上げの年度として、各事業に取り組んできました。ここからは主なものを紹介します。

平成30年度の主な取り組み



松原市がこれだけ良くなったんやでっ!